

20万人のひろば



萱田地区公園に咲く日本スイセン

ありがとうございました

「児童福祉のために役立ててください」と、八千代ライオンズクラブ様よりフラットフープやファイバーツリーなどの玩具を、ボランティアグループYACHIROCK様よりタンバリンやドキドキアンパンチなどの玩具を寄贈いただきました。子どもたちのために活用させていただきます。



■FMふくろうのサテライトスタジオ「ふくろーズstudio」が12月にオープン 八千代市のFMラジオ局「FMふくろう」が昨年9月に開局6周年を迎え、イオンモール八千代緑が丘のローズ広場にサテライトスタジオを開設しました。多くの買い物客が行き交うこの場所で「地域認知度100%」を目指します。毎週月曜日～金曜日の正午～午後1時に、市内のイベントや話題のニュースをお届けする「バラ色ランチ」を、このスタジオで生放送中です。

市民伝言板 /

- シニア向け発声筋トレ体験会と朗読劇の発表 会話や食事のための舌・喉・声帯の筋トレ紹介と朗読劇のミニ発表会。要予約30人。2月25日(日)午後2時～4時、緑が丘公民館。申し込みは、八千代朗読劇団・小野澤 剛090-5445-5193へ。
- 題名のないコンサート～名曲を集めてみました～ オリент急行や、人気ゲームや映画のテーマソングなどを吹奏楽で演奏します。2月25日(日)午後1時30分開場、2時開演、市民会館。八千代フェスティバルバンド・武井 剛090-9134-2379 (市民活動団体公益事業補助金制度対象事業です。)

大谷翔平選手からのグラブが各小学校に

アメリカの大リーグで活躍する大谷翔平選手に寄贈いただいたグラブが本市にも届き、大和田小学校では、1月9日の始業式に合わせて披露されました。

憧れの大谷選手からのプレゼントに目を輝かせる子どもたち。グラブと共に届いた「野球しようぜ」などと書かれたメッセージも紹介されました。大和田小学校では、休み時間に貸し出したり体育の授業で使わせていただきます。



▲代表児童によるキャッチボールも披露されました

市内在住の2人が海外へ派遣

(独)国際協力機構(JICA)の海外協力隊として、市内在住の堀田修さんがエチオピアへ、干場圭さんがバヌアツへと派遣されることになり、1月10日に市長を表敬訪問しました。堀田さんは高齢者や女性の貧困層を支援するNGO団体で、IT技術に関する支援を、干場さんは防災計画の立案などの災害対策に携わります。堀田さん

は「自分の持つ技術で支援したい」と意欲を示し、干場さんは、市消防本部で救急救命士として勤務した経験を活かし「災害に弱い国なので、防げるはずの災害死を一つでも減らしたい」と意気込みを語りました。



▲左から堀田修さん、服部市長、干場圭さん

災害対応訓練を実施しました 能登半島へ職員派遣も行っています



▲被災想定が訓練直前まで明かされない実践的な訓練を行っています

1月17日に災害対応訓練を実施しました。訓練は、千葉県北西部で震度6強の地震が起こった想定で行われ、災害対策本部の設置や運営についての手順を再確認しました。令和6年能登半島地震の被災地に、本市からも職員を派遣し、住家被害認定調査や避難所運営などの業務にあたっています。引き続き、被災地の支援に取り組んでいきます。

ミニ・ガイド

■技能・技術を身に付け、再就職を！ (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構では、公共職業訓練受講者(5月生)を募集します。再就職を希望する人を対象に、専門的知識や技能を学ぶための職業訓練を実施しています。受講無料(テキスト・作業服などの費用は自己負担)。①CAD・NCオペレーション科は定員20人、②建築CAD・サービス科は定員30人。ポリテクセンター千葉(千葉市稲毛区六方町274)。募集期間は2月15日(木)～3月22日(金)。4月4日(木)に筆記と面接の入所選考を行います。申し込みは、電話で船橋公共職業安定所(ハローワーク)第二庁舎職業訓練コーナー 047-420-8609(代表)部門コード42#へ。見学会も3月12日(火)に行います。要予約。見学会の申し込みは、電話でポ

リテクセンター千葉訓練第一課 043-422-4810へ。
■精神障害者家族対話の集い 精神障害者を身内に持つ家族が、悩みや心配ごとなどを話し合う「対話の集い」を開催します。2月22日(木)午後1時30分～4時、プラッツ習志野(習志野中央公民館)北館集会室1。申し込みは、電話かファクスで習志野八千代心の健康を守る会・渡邊 剛 453-6760へ
■6年度千葉県生涯大学校学生募集(2次) 仲間づくり、社会参加に興味があり、千葉県在住で、55歳以上の人対象。応募は2月27日(火)まで。願書は、生涯大学校各学園、長寿支援課、千葉県庁高齢者福祉課で配布。郵送希望者は、140円切手を貼った返信用封筒(角2)を同封し、千葉県生涯大学校事務局 〒260-0801千葉市中央区仁戸名町666-2へ郵送。県庁ホームページからも入手できます。お問い合わせは、同事務局 043-266-4705へ。

八千代歌壇

鶴岡 美代子選

断捨離し終活もすみ十余年生きたかなともくもくあみ
(萱田町) 吉田 仁子
甥の娘に不要となったネックレス譲れば少し終活となる
(下市場) 村越喜美子
紅椿それともやはり富士山か色紙画えらびに迷う年の夜
(大和田新田) 上野久美子
椎の木は主のごとく森に立つ根元を落花に守られながら
(八千代台北) 村田 一江
駅員が改札鉄をかるやかに鳴らし立ちあろしかの日の駅舎
(大和田) 井上 正則
我が庭の柿のみじ葉散り敷きて夕日に輝く実を数えおり
(勝田台) 浅岡 弘子
忘れまい空の神兵習志野に輸送機からの落下傘部隊
(八千代台東) 森野 豊作
新年をいかに迎えしガザの子等神よ仏よ おらぬ世なのか
(村上団地) 菅野 紀子
すり鉢を囲み祖父より教わりしとろろ作らむ自然薯屠く
(桑橋) 野田 節子

選評 一首目、長寿社会を象徴するような作品。今や百歳時代で、断捨離を早くしてしまつと、再び物がたまることとなる。滑稽だが、お元気だということ。二首目、前作同様終活の作品。高価な品物ゆえ身内の人に贈られてよかった。三首目、新年を迎えるにあたり、飾る色紙の絵を選んでいく。背景にメリハリのある暮らしぶりが窺え、迎春の季節感がある。

やちよ川柳

八千代川柳連盟選

一杯のワインが流す今日の悔い 上高野 神津真智子
落ち葉焚き消えた昭和がまた一つ 八千代台北 渡邊ひろし
笹の味母国と日本知るパンダ 村上団地 押切 卓郎
飲みすぎと孫に言わせる婆の知恵 大和田新田 羽村田 廣
湯豆腐に熱燗そえてハヒフヘホ 緑が丘 鈴木 照子
頑固だが味が自慢のあのそば屋 緑が丘 長壁 節子
忙しや柚子が生り年ジャム作り 緑が丘 神山佳代子
手作りのミニ門松が春を呼ぶ 高津 岡田やほこ
残したい青い地球を未来まで 村上団地 本荘たみこ
補聴器が都合に合わせ故障する 八千代台東 平蔵 終
登り来て年に一度の御来光 勝田台南 村松さとの



防災無線自動電話応答サービス
0120(970)911
24時間以内の防災無線放送の
無料通話
内容を確認できます